おじゃましてす!

第5回 貝原バーナー製作所

ふるさと納税の返礼品を手掛けてくださっている町内の事業所に、スポットを当てていきます。

住所：須恵町佐谷1655
TEL：518-5316

ホームページ▶

第5回は、ふるさと納税返礼品で、ケロシンストーブが人気の「貝原バーナー製作所」に、おじゃましてす!

ケロシンストーブとは、1892年にスウェーデンで開発された歴史的な機器であり、現代の生活では使いづらいものとされていますが、その使いづらさやアンティークな外観が現代のキャンパー層に支持を得ています。

貝原バーナー製作所は、希少な純国産のケロシンストーブを設計から製造まで、一貫して行っています。常に「高品質」「高精度」を目標にものづくりに取り組むことをコンセプトとしており、ねじ1本から手作りするほど、こだわりの詰まった作品を製造しています。

代表作である「M214-B」は、販売と同時に知名度が一気に広まり、福岡デザインアワードを受賞するなど、その品質と精度に注目されています。

今後ストーブのみでなく、ランタンとして利用するための付属パーツの製造を検討しています。また、製品の仕組みを利用した発電システムを構築し、防災にも役立つ製品開発の構想を練っているそうですが、まずは、昨年販売を開始した新製品「M326-B」の実績を上げていきたいと考えておられます。

キャンパーに大人気の「M214-B」

新製品のM326-B

ケロシンストーブならではの温もりを感じます

代表 貝原 壮二 さん

幼少期より、釣具の製作などに強い興味を持ち、以降さまざまな趣味にハンドクラフトを取り入れ、現在、こだわりのケロシンストーブに辿り着いた。

常に挑戦・進化されています。

この四月から、大きなランドセルを背負ったピカピカの小学一年生が、元氣いっぱいに登校して、はや四カ月。友達との会話が楽しいのか、なかなか前へ進まない学校までの道のりのようだ。

学校という新たな環境の中で、たくさんの友だちを作り、勉強に励み、多くのことを学んでもらいたいものだ。いずれこの子どもたちが、世の中のため、須恵町のため、住みよいまちづくりを担ってくれるだろう。

希望に満ち溢れた子どもたちの将来が楽しみであり、学校へ向かうその後ろ姿が頼もしく見えてくる。そのため我々は、子どもたちに安心してパトントッチできる未来を作り上げたいものである。

川口 満浩

編集後記

発行責任者

議長：松山 力弥

広報特別委員会

委員長：稲永 辰己

副委員長：田ノ上 真

委員：今村 桂子

委員：川口 満浩

委員：川原 幸治

委員：平山 諭